

3 アグリビジネス科（農業経営者養成コース） 教育指導計画表

(1) 必修科目（講義）

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
農業DX 32時間 (外部講師) (農林水産研究所)	社会とDX、農業とDXとの関りを理解し、スマート農機やデジタル機器を生産現場で活用できる人材を育成する。	1. 農業DXⅠ 2. 農業DXⅡ	配布資料	出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価
農業実践力養成講座 64時間 (藪野 航大) (橋堀 亮太) (鎌田 秋吉) (竹森 まりえ)	鳥獣害対策や農業機械・施設等、農業現場において実用的な技術を学ぶとともに、販路開拓やPR等ビジネス展開に必要な手法を学ぶなど、就農する上で必要な技術やノウハウを身に付けるため、実践を交えた講義や演習を行う。	1. 鳥獣害対策 2. 農業機械・施設学 3. ビジスマナー・折衝力・交渉力実践 4. 新しいツール情報発信	配布資料	出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価
農業経営力養成講座 80時間 (井上 俊一) (岡本 陽) (友澤 俊彦) (大上 博基) (兵藤 清一)	法人等の設立に必要な知識を学ぶとともに、持続可能な事業体を目指すため、マーケティング手法や、労務管理、農地整備、組織マネジメント等を学ぶなど、事業展開や運営を行う上で求められる知識を習得し、企業的感覚を持った農業経営者を目指す。	1. 法人経営学 2. 農業経営実務・実践 3. 人材マネジメントと労務管理 4. 農村整備 5. 組織リーダー論	「改訂第6版 Q&A 農業法人化マニュアル」 全国農業会議所 『財務3表一体理解法「管理会計」編』 國貞克則著、朝日新書 配布資料	出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価
農業社会力養成講座 32時間 (椿 真一) (鈴木 静) 農産園芸課 (篠原 慶一郎) 農地・担い手対策室 (和田 幸将) (俊成 典和) (一色 大輔) えひめ農林漁業振興機構 (宮内 理郷)	農業・農政の動きをふまえた施策紹介や、経営管理を行うに当たり必要な法律・制度について学ぶとともに、就農へのプロセスや支援策について学ぶ等、多様化する農業経営の現状と実践例をもとに、農業で起業するための課題や現状について把握し理解を深めることで、社会力を養成する。	1. 農政時事 2. 農業経営法規 3. 知的財産関連法制度 4. 農業経営基盤強化促進法 5. 農地制度 6. 労働基準法 7. 所得税法 8. 製造物責任法 9. 農業社会学	配布資料	出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価

(2) 必修科目（演習）

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
経営・起業プラン策定 64時間 (井上 俊一)	自らの経営計画を策定し、経営計画上の課題を整理・検討を行うことで、就農に向けた準備を行う。	1. 経営指標と経営分析 2. 経営指標と経営計画の策定方法 3. 開業・青色申告届と新規就農認定計画 4. 経営計画作成と応用 5. 投資計画と経営発展支援事業 6. 新規就農認定計画と就農支援資金計画作成 7. 新規就農認定申請書と就農支援資金申請書作成	「2026年農家相談の手引き」 「令和8年度青色申告」 版農家の青 全国農業会議所	出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価

(2) 必修科目 (演習) つづき

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
事例調査 32時間 (伊達 志穂美) (中川 建也)	優良な経営を実践している農業経営者・流通・加工・販売担当者と接し、現状を確認することで、今後の経営計画の策定に役立てる。	1. 優良事例等の情報収集 2. 優良事例等の調査 3. とりまとめ	配布資料	出席状況 レポート提出を総合的に評価
特別活動 16時間 (伊達 志穂美) (中川 建也)	講演や講義、ゼミなどにより、将来の経営者としての情報収集・分析能力、企画力、行動力、合意形成能力等を育成する。	1. 講演・講義・ゼミ等 2. とりまとめ		出席状況 受講態度 レポート提出を総合的に評価

(3) 必修科目 (実習)

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
インターン実習 704時間 (インターン実習 受入法人)	先進的な取り組みを実践している農業法人等でインターンシップ実習を行い、農業ビジネスの人材となるべく実践力と動機づけを養う。	1. 経営規模や栽培作目に応じた作業計画の策定・実践 2. 地域との関わりや取引業者等との連携、不測の事態への判断力等、現場での対応力を学ぶ 3. 農業を取り巻く情報等を見極め、目の前の課題だけでなく中・長期的な思考力を養う。		出席状況 実習査定
研究機関等実習 64時間 (試験研究機関等)	農業経営に必要なより高度な技術習得及び課題解決を行うため、試験場等において活かした教材を活用した実習を行う。	1. 応用技術の習得 2. 最新技術の習得		出席状況 実習査定

(4) 選択科目

下表の科目の他、総合農学科1年、2年の科目名の欄に※ア選と記載している科目から選択する。

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
玉掛け (吊上げ荷重1 t以上) 技能講習 16時間 (コベルコ教習所)	労働安全を確保するため、玉掛け (吊上げ荷重1 t以上) の取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. クレーン等に関する知識 2. クレーン等の玉掛けの方法 3. 玉掛けに必要な力学に関する知識 4. 関係法令 5. クレーン等の運転のための合図 6. クレーン等の玉掛け	「玉掛け作業教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得の状況を総合して評価
小型移動式クレーン (吊上げ荷重5 t未満) 技能講習 16時間 (コベルコ教習所)	労働安全を確保するため、小型移動式クレーン (吊上げ荷重5 t未満) の取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. クレーンに関する知識 2. 原動機及び電気に関する知識 3. 力学に関する知識 4. 関係法令 5. クレーンの運転	「小型移動式クレーン運転者教本」 コベルコ教習所	受講態度 資格取得の状況を総合して評価

(4) 選択科目につき

下表の科目の他、総合農学科1年、2年の科目名の欄に※ア選と記載している科目から選択する。

科目名 時間 担当講師	教育のねらい	内 容	教科書	評価方法
ボイラー（小規模ボイラー）取扱技能講習 16時間 （日本ボイラー協会愛媛支部）	ボイラー（小規模ボイラー）の構造や機能、取扱方法を習得するとともに資格を取得する。	1. ボイラーの構造 2. ボイラーの取扱い 3. 点火及び燃焼 4. 点検及び異常時の処置 5. 関係法令	「ボイラー取扱技能講習テキスト」「わかりやすいボイラー及び圧力容器安全規則」	資格取得の状況
植物病理学 16時間 （芝田 英明）	病害の発生生態、診断および防除に関する学術的知識を習得させ、効率的な防除技術の知識を習得させる。	1. 病害の発生状況調査法 2. 病原菌の分離と診断法 3. 病害の簡易診断法 4. 病害の防除効果評価法	配布資料	出席状況 受講態度 レポートを総合して評価
環境保全型農業 32時間 （芝田 英明）	環境と調和した持続性の高い農業生産方式としての環境保全型農業に関する理解を深めさせ、総合的防除法の知識を習得させる。	1. 環境保全型農業の概要と実際 2. 有機農業の概要と実際 3. みどりの食料システム戦略 4. 病害虫発生予察情報の活用法 5. 主要病害虫の同定法	配布資料	出席状況 受講態度 レポートを総合して評価
食品加工法規 16時間 （中村 優太）	食品における危害防止に関する知識を習得させる。	1. 食品表示に関する法律 2. 食品衛生法 3. 有機農産物加工食品の検査認証制度 4. PL法、HACCP等	配布資料	出席状況 受講態度 レポートを総合して評価
食品の微生物基礎 16時間 （徳永 英幸）	微生物に起因する食品加工への活用について知識を高めさせる。	1. 食品微生物の種類と性状 2. 微生物の育成と環境因子 3. 微生物を利用した食品加工	配布資料	試験
農畜産物加工学 32時間 （石丸 佳津）	食品加工の品質と生産性の向上を図るための知識と技術を習得させる。	1. 食品加工の意義と特性 2. 食品加工の基礎 3. 加工方法と貯蔵技術	配布資料	出席状況 受講態度
貯蔵・流通技術 16時間 （塩梅 伸一）	農産物貯蔵流通技術について専門的知識を理解させるとともに、消費者ニーズにあわせた貯蔵、流通、販売方法と今後の取り組みについて理解させる。	1. 農産物貯蔵・流通の基本技術 2. 産地、流通現場での鮮度保持技術 3. 流通経費と合理化	配布資料	筆記試験 出席状況 受講態度
バンター養成塾 16時間 農産園芸課 （井上 裕太）	第一種銃猟免許やわな猟免許を取得するため愛媛県が主催する講座に参加し、適切な捕獲技術の修得等を図る。	1. 被害状況と対策 2. 狩猟入門 3. 狩猟の心構えと猟具の取扱い 4. 鳥獣の習性と基礎知識 5. 解体処理作業見学 6. 効果的な捕獲方法	配布資料	出席状況 受講態度 資格取得を総合して評価